

児童数推計(2019年度～2024年度)

1. 推計方法

- ① 既に出生している児童を対象とした推計。
※2017年度に出生した子どもは、2024年度に小学1年生となる。
- ② 就学前児童は、2018年5月1日現在の自身が属する行政区の指定する小学校に入学し、卒業まで同校に在席するものとする。
- ③ 特別許可区を有する行政区の就学前児童は、2018年5月1日現在で在席する小学校の児童の割合で各学校に入学するものとする。
(例:若菜行政区児童は二川小学校に71%、羽犬塚小学校に29%入学)
- ④ 2018年度に既に小学校に在席している児童は、5月1日現在在席する学校に卒業まで在席するものとする。

中学校区	学校名	児童数	推計児童数					
		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度
羽犬塚中	羽犬塚小	637	650	657	648	644	662	681
	筑後小	452	452	437	453	462	477	482
羽犬塚中学校区合計		1,089	1,102	1,094	1,101	1,106	1,139	1,163
筑後北中	筑後北小	276	280	294	285	300	306	305
	松原小	400	391	403	388	374	370	368
	西牟田小	227	226	217	222	201	194	185
筑後北中学校区合計		903	897	914	895	875	870	858
筑後中	水田小	313	328	333	338	346	345	346
	古川小	83	76	74	79	78	79	78
	水洗小	187	179	188	197	188	188	175
	下妻小	67	64	68	56	61	57	52
	古島小	74	78	76	75	75	74	72
	二川小	121	143	153	156	164	156	154
筑後中学校区合計		845	868	892	901	912	899	877
合計		2,837	2,867	2,900	2,897	2,893	2,908	2,898

将来にわたる児童数推計

1. 推計方法と推計値の捉え方

今後出生する児童数の推移には様々な要因があり、筑後市単独での推計は困難性が高い。そのため、厚生労働省の施設等機関である国立社会保障・人口問題研究所(以下社人研)が発表する人口推計値を利用する。ただし、人口推計は社会情勢などで常に変動していくものであるため、小学校再編にあたってはあくまで一つの参考資料ととらえる。

2. 社人研推計値(H30年度公表分)

	2030年	2035年	2040年	2045年
	H42年	H47年	H52年	H57年
5～9歳	2,151	2,103	2,054	1,981
10～14歳	2,312	2,164	2,113	2,063

3. 社人研推計値を基にした児童数推計

社人研推計値は5歳ごととなっているため、児童数(小学生)を6歳から11歳とし、下記計算式で児童数を求めた。

$$\text{児童数} = (5\sim 9\text{歳}) \times 4/5 + (10\sim 14\text{才}) \times 2/5$$

	2030	2035	2040	2045
	H42年	H47年	H52年	H57年
児童数	2,646	2,548	2,488	2,410